

名古屋能楽堂



Nagoya Noh Theater

# 五月定例公演

能

「<sup>たむら</sup>田村」(喜多流)

シテ 長田 郷

狂言

「<sup>はしたてず</sup>不腹立」(和泉流)

シテ 野口隆行



能「田村」  
撮影:エイキョービデオ

令和8年

5月9日(土)

14:00開演 (13:00開場)

指定席 ..... 4,200円

自由席(一般) ..... 3,200円

自由席(学生) ..... 2,000円

3月5日(木)より 前売券発売

## 豊臣能楽 ～豊臣家の能と狂言～

### 兄弟が愛した能楽

豊臣秀吉はその晩年、能に熱中します。稽古に励み、自らも出演する宮中での禁中能を企画し、さらには自分の事績にちなむ新作、いわゆる“豊公能(太閤能)”を作らせたほど。

彼に先んじて能に関心を寄せていた弟の秀長は、天正十六年九月上洛していた毛利輝元が郡山城を訪れた際に盛大な能の宴でもてなしたことや、能役者・金春太夫安照を引き立てていたことが史料から伝わります。後の秀吉の金春愛顧は弟からの影響もあったことでしょう。

豊臣家と能楽のかかわりをひもとく今年度のシーズンは能《田村》(秀吉本人が何度か舞った記録があり、また秀長が生前に後援していた金春安照が、秀吉に召された肥前名護屋城にて文禄二年四月に演じている)と、文禄二年十月禁中能の初日の番組より狂言《不腹立》で開幕します!



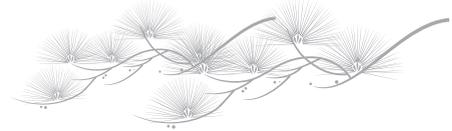
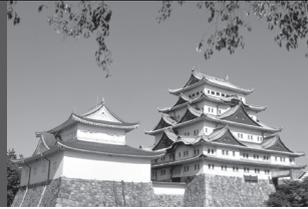
公認文化プログラム  
Aichi-Nagoya 2026

主催



名古屋市文化振興事業団 [名古屋能楽堂]

公益社団法人 能楽協会 名古屋支部



番組

◇開演前ショート解説…午後一時四十五分から午後二時  
『田村』について 高林 昌司

狂言 不腹立(和泉流)

シテ 出家 野口 隆行  
アド 在所の者 野村 又三郎  
小アド 在所の者 伊藤 泰  
後見 野村 小三郎

休憩十五分

能 田村(喜多流)

前シテ 童子 長田 郷  
後シテ 坂上田村麿の霊  
ワキ 旅僧 飯富 雅介  
アイ 門前の者 松田 高義  
笛 山村 友子  
小鼓 後藤嘉津幸  
大鼓 河村裕一郎  
後見 平塚 昭子  
中西 勤 高林 昌司  
松田 幸孝 高林 伸二  
松井 俊介

(午後四時頃終演予定)

【イヤホンガイド】

◆能「田村」  
日本語／中尾 薫(大阪大学大学院人文科学研究科教授)  
英語／南谷みどり(能楽イヤホンガイド名古屋)

●都合により出演者の変更となる場合がございます。  
あらかじめご了承ください。

◇狂言「不腹立」(はらたてず)

新しい堂を建立した在所の者ですが、堂を守る出家が居りません。そこで近所の衆と相談し人通りのある海道へ出て探していると、運良く諸国を行脚する旅僧が通りかかり声を掛けて雇い入れます。僧に出家の名を問うと、暫し躊躇しながらも「腹立てずの正直坊」と名乗ったため、旦那衆は怒らせてみようと考えて、その名を巡って擲擧からかいはじめます…。  
碌な修行もしないまま出家する有象無象も多かったであろう時代。その似非(えせ)坊主が自らの無字を伏せるために嘘を付き、嘘に嘘を重ねて無理をして、見栄を張る可笑しさと破綻してゆく痛快さ。狂言の一つのテーマたる、時代の《風刺性》を匂わせた作品です。

現在和泉流では「不腹立」と各派表記を統一していますが、流派によっては本来「腹不立」「腹立須」などの表記も継承されています。(井上松次郎)

◇能「田村」(たむら)

東国方の僧(ワキ)が都を見に来る。時は春、桜の花が盛りである。清水寺の境内を掃き清める童子(前シテ)を見て寺の由来を尋ねる。

「此の寺は大同二年、坂上の田村麿が願を起こして建てられた」と寺の縁起を語る。更に童子は僧の求めに応じ、あたりの名所を教える。音羽山の方から月が昇り桜の花が月光に照り映えるのを見た童子は「春宵一刻値千金。花に清香月に影」と漢詩を引用して寺内の景色を見せ、「唯頼め、しめしが原のさしも草、我世の中にあらん限りは」と観世音の詠まれた御歌の如く、清水の春は濁りなく、枯木にまで花が咲き乱れる」と語り、「我が名が知りたくは帰る方角をご覧せよ」と田村麿を祭った田村堂の扉を開けて中へ入ってゆく。

僧は童子が田村麿の化身と知り、夜もすがら経を読んでいると田村麿の霊(後シテ)が現れ、平城天皇の御代、伊勢に住む悪鬼を退治せんと清水寺に参詣し、石山観世音を拝み、瀬田の唐橋を渡り、伊勢路に赴く。やがて戦が始まり鬼神の軍勢は群がって襲いかかる。此時味方の軍勢の旗の上に千手観音が出現し、千の御手毎に大悲の弓を持ち、知恵の矢を掛け、雨、霰と鬼神の軍勢を射給うので、鬼神達は悉く亡滅した。是は即ち観音の仏力だと語る。(長田 郷)

五月定例公演事前学習講座  
4月26日(日) 14:00~15:30

受講チケット 500円

◆能「田村」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。  
※事前学習講座のチケットは、名古屋市文化振興事業団の管理する文化施設窓口にて取り扱いをしております。

チケット料金(税込み) \*前売券発売日 令和8年3月5日(木)

|                 | 指定<br>Reserved | 自由 Non reserved |                                    |
|-----------------|----------------|-----------------|------------------------------------|
|                 |                | 一般 Adult        | 大学生(25歳)以下<br>Student 25 and under |
| 前売 Advance sale | 4,200円         | 3,200円          | 2,000円                             |

\*学生券は25歳以下を対象とします。\*未就学児のご入場はお断りいたします。  
\*チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。

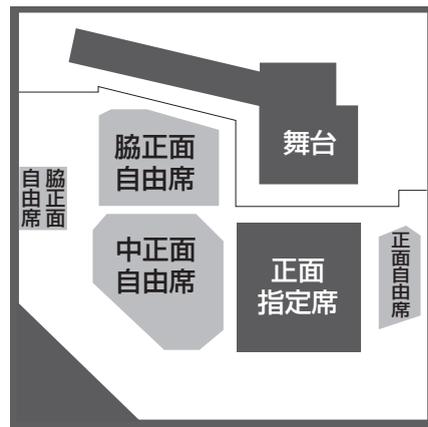
\*事業団友の会会員・障がい者手帳等をお持ちの方(付添者1名含む)は400円引きです。(学生券の割引はありません。)  
(名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ、各割引の併用はできません。)

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂 / TEL.052-231-0088  
\*前売券発売日当日は、お電話がつながりにくいことがあります。  
名古屋市文化振興事業団チケットガイド / TEL.052-249-9387  
(平日9:00~17:00 / チケット郵送可)  
名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。  
(工事休館などがありますので、ホームページでご確認ください。)  
チケットぴあ / Pコード539-935

\*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも割引きます。(名古屋能楽堂取扱いのみ)  
Discount is available by showing passport or other proof of foreign nationality. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ / 名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756



〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目1番1号

公演についての最新の情報は  
名古屋能楽堂ホームページを  
ご覧ください。



<https://www.bunka758.or.jp/facility/nougakudo/>